

2020年(令和2年)11月18日(水)第12回例会(通算2886回)

国際ロータリー第2580地区



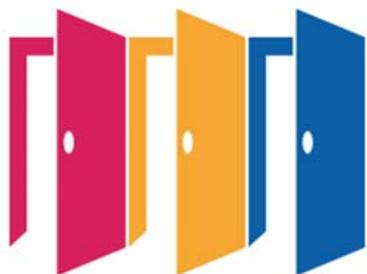
石垣ロータリークラブ週報

会長：森田 安高 副会長：黒島 剛 幹事：東上里 広和 副幹事：吉田 貴紀

今月のロータリーレート 1\$¥104

創立年月日：1962年3月12日

今年度創立60周年



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度RIテーマ

RI会長：ホルガー・クナーク

地区ガバナー：野生司 義光氏

2020-21年度 ◆クラブテーマ◆ 【心機一転】

クラブキャッチコピー：島のリズムで伝える平和と奉仕のくくる(心)

☆地区年次目標☆

「会員増強」

「公共イメージの向上」

「ロータリーデーの開催」



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか



シリーズ：森の名人・戸眞伊さんと森の木

石垣方言：シマユーナ 和名：サキシマハマボウ

沖縄を代表する曲「ゆうなの花」でも有名になった黄色い花をつけるオオハマボウ、より海岸に近い場所で自生しているのがサキシマハマボウです。黄色から赤褐色の花を付け、葉の形もオオハマボウと同様にハート形をしています、先が尖がっているのが特徴です。自生しているサキシマハマボウは数カ所しかないそうです。まっすぐ生える木ではない為、建材として使われてきた記録は残っていないそうです。木目も色合いもいいので、戸眞伊さんの小物づくりには最適だそう。



10月21日(水)例会報告

《司会進行：吉田 貴紀》

ロータリーソング：奉仕の理想 四つのテスト

ソングリーダー：松田 新一郎

ゲスト：石垣市消防本部 消防長 司令長 新城 剛 様

消防士 平安名 敦史 様

メイクアップ：小林 昌道 南波 正幸

会員総数	47名
出席義務会員	46名
出席数	29名
欠席数	17名
出席率	63.04%
通算出席率(10月)	63.77%

★11月のプログラム 11/25(水)第7条第1節(d)による休会

例会日 水曜日 12:30～13:30

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311

事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX (0980) 83-2917

URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

E-mail ishiroary@ninus.ocn.ne.jp

◆ 会長挨拶: 森田 安高 ◆



今日は、ゲスト卓話を行って頂きます消防長司令長、新城剛様並びに随行で参加頂いています消防士の平安名敦史様、本日は大変お忙しい中、参加頂きましてありがとうございます。今日は新聞等で皆さんもご存じだと思いますが、石垣は爆破予告のいろんな状況の中、時間を省いて頂きありがとうございます。また何事もないことを願っております。10/20、日本でロータリークラブが誕生して100周年の記念日でした。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、それについて勉強がてら調べて参りましたのでご報告させて頂きます。1918年に米山梅吉さんが財政調査団と共に渡米しテキサス州ダラスでロータリークラブ会員の福島喜三次と出会い、その時に米山さんがロータリークラブの活動に対し感銘を受けて帰国後二年間に渡りロータリーの精神と組織の研究に努めました。19201月に福島喜三次さんも帰国、その当時日本にいたウォータージョンソン在日米国実業家の指導のもとでチャーターメンバー24名を集めそのうちの有志14名で発足に対して賛同を得て1920/10/20初代会長に米山梅吉氏、幹事に福島喜三次さんでスタートとしたという歴史があります。当時はロータリー国際連合会と称していましたが、今は国際ロータリーのなっております。日本はシカゴに加盟申請を行い正式に承認されたのは翌年の大正10年、1921/4/1で承認順位は東京RCがトップです。調べてみますと7番目に昭和35年、1960年には那覇RC、石垣RC11番目で昭和37年、1962/5/18承認されております。本日は、東京で100周年記念式典・祝賀会が行われる予定でした。コロナの影響で各地区の会長を含めての参加は見合わせて、各地区のガバナーだけの参加で、本日の17時から東京のホテルで開催されます。当クラブからも祝電をお送りいたしましたのでご報告いたします。

◆ 幹事報告: 東上里 和広 ◆

先週は私事でどうしても外せない出張があり例会を欠席いたしました皆様にはご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。My Rotaryの登録についてですが、先日からSlackのほうに登録方法、登録状況を案内させて頂いています。操作方法や登録方法が理解出来ないという方もいらっしゃると思いますので、その際には私か副幹事の吉田さんまでお電話頂ければお手伝いさせていただきますのでよろしくお願いいたします。ガバナー公式訪問が来月にありますので、それまでにはなるべく100%目指して行きたいと思いますのでよろしくお願いいたします。今、クラブの中でのコミュニケーションツール Slack なんですけど、スマホやタブレットを買い替えてログアウトになっている方がいらっしゃって相談を受けております。そういう状況が出るのは承

知の上ですが、ぜひ声をかけて頂いて再設定や操作方法の不便さを解消していただきたいと思いますので私の方までお声かけください。週報ですが、警察署長の卓話で卓話内容に許可を得る手続きがあったようなので今週はスキップという形で来週まとめて提出させていただきますのでご了承のほどよろしくお願いいたします。最後に、コロナ感染状況ですが、昨日から一般市民のPCR検査が始まったようで危機管理委員長の橋本先生の見解を頂きながら今後の運営についてご報告させていただきますのでよろしくお願いいたします。

◆ ゲスト卓話: 新城 剛 様 ◆

(石垣市消防本部 消防長)

◆ テーマ ◆

本市の消防体制について



本日は歴史あるロータリークラブの例会にお招き頂きまして本当にありがとうございます。皆様の長きに奉仕活動に感謝申し上げます。本日は消防本部の体制について少しでも理解して頂きたいという思いから参加させて頂きました。講話の内容については、1 消防も任務、組織、消防力、2 災害出動状況、3 本市の消防防災体制、4 消防団と自主防災組織、5 本市の重点課題をご紹介します。初めにこの写真は、昭和48年4月に皆様の第358地区の石垣ロータリークラブ様より寄贈を受けた本市の2台目の救急車であります。47年前の記憶ある方もいらっしゃるでしょうか？ 当時はかなりの高額だったと思いますが、会員の皆様の市民を思う善意に心から感謝いたします。この救急車で多くの命が救われました。本当にありがとうございました。消防の任務は、施設(車両)と人員、水利(水)を活用して、災害から国民の生命、身体・財産を守り、水害、火災、地震等の被害を防除し、災害の被害を軽減し、災害時による傷病者の搬送を適切に行うことを任務としております。消防業務。1. 火災時に延焼防止などの消火活動を行う消防業務2. 生命に危機が迫った傷病者を、救命手当を行いながら迅速に病院に搬送する救急業務3. 交通事故や労働災害、水難事故などの危機に迫った者を救出する救助活動4. 消防設備の設置や建物の防火査察など、火災を発生させないための防火指導を行なう予防業務があります。社会の発展に伴い、高度な知識と技術が求められます。消防が対応する災害として、平常時は、主に火災、救急、救助などの出動要請に対応していますが、災害時は、暴風、洪水、捜索などの対応があり、大規模な地震・津波や、NBC災害や、テロ災害などの特殊災害の対応も消防の任務となります。近年は防災も消防の任務になりつつあります。大規模災害では、管轄消防だけの対応が困難となることから、県内消防や、緊急消防援助隊、自衛隊の応援要請を行って対応することになります。本市の消防組織については、常備消防本部と、非常備の消防団の2つの機関があります。消防本部は、予算・人事等を管理する総務課、消防計画・消防訓練・消防団事務等を所管する警防課、火災の発生を未然に防ぐための予防事務を管理する予防課があり、勤務時間は、平日の日勤帯となっ

ています。一方、消防署は、第一戦で活動を行う部署で、3交代制・24時間勤務となり、統括する責任者は署長となります。消防団の組織は、自らの仕事を持ちながら、災害が発生したら、現場に駆け付ける非常備の組織になっています。情報の管理者は石垣市長になります。次に、消防署、出張所の配置については、市街地を管轄する消防署と北西部を管轄する2つの出張所を配置しています。消防署が管轄する区域には、本市の人口の95%が居住し、北部 2.5%、西部 2.5%の人口が居住しています。市街地の人口規模から、消防署職員の割合が少ないことが大きな課題となっています。現在の消防本部の位置ですが、県道バイパス沿いに位置し、手前から県立八重山病院、隣りが、現在建築中の石垣市新庁舎と、石垣市消防本部が隣接して建っています。バイパス沿いから見た消防庁舎です。旧海上保安部石垣航空基地が入っていた庁舎を、耐震化して、使用しています。築47年が経過し、新庁舎の建替えも、大きな課題となっています。敷地内から見た消防庁舎の全体像になります。奥から、消防庁舎、第1車庫、第2車庫となっています。次に、本市の消防力について説明します。消防力とは、人員と、施設、及び水利(水)の3つから成り立っています。施設は、消防庁舎や消防車両・資機材を言い、消防水利は、市内道路に100メートル間隔で設置されている消火栓と、防火水槽を言っています。現在の職員数は65名、消防車両26台で、車両以外に、災害救助用のドローンを2機所有しています。主力機械については、消防署・出張所が所有する車両は22台、消防団が所有している車両は4台となっています。国の整備基準に沿って配備していますが、消防団のポンプ車が不足していることが課題で、今年度は、白保地区に消防団拠点施設が整備され、消防団所有の水槽付きポンプ車が始めて配備されます。消防施設の中には、119通報を受け付ける通信指令室が含まれます。県内14消防本部と、竹富・与那国町など非常備の町村も加入して、嘉手納町にある沖縄県消防指令センターで、4年前から通信指令業務が行われています。当消防からも通信指令員として、2名の職員を派遣しています。常時6人体制で、一日平均の受理件数は約200件となっています。指令センターと直結し、左上のモニターでは、出動中の消防車の位置が、リアルタイムで確認できます。また、昨年、八重山地方で発生した、大規模な通信障害の際は、消防無線に影響は無く、指令センターを介して、沖縄県などと情報のやり取りを行いました。市の対策本部にも消防デジタル無線機を貸し出し通信手段を確保しました。救助用ドローンを2器所有しています。赤外線カメラとズーム機能、スピーカー機能がついており、行方不明者や水難救助の捜索等に活用しています。隊員が近づけない現場の状況が鮮明に確認できますので大きな戦力になっています。年間出動件数は、年間 2,680 件で全出動件数の97パーセントを救急出動が占め、火災や、交通事故・水難事故等の救助、その他の出動は、各1パーセントとなっています。火災や救助等の対応については、一つの要請で規模が大きく、多くの人員と時間を要し、救

急出動とは、単純に比較できない面もあります。救急出動件数については、一日平均7件出動し、高齢化の進展や観光客の増加等で、毎年増加傾向にあります。次に、本市における消防防災体制について。「公助」を担う常備消防本部と消防団の比率は、常備消防職員数が65人に対し、非常備の消防団数は88人となっています。全国では消防団員が「約5倍」多くなっていますが、沖縄県は消防団が少ない状況にあり、本市でも消防団員の入団促進が、重要な課題となっています。ご存じのとおり、消防団員は、地区の住民でもあり、自主防災組織と同様の「共助」の活動も担っています。本市の自主防災組織は、45の地区で組織され、本市全体の98%をカバーしています。これらを踏まえ、「地域防災の三本柱」といわれる消防団、自主防災組織、常備消防の特徴については、◆災害対応力は、常備消防>消防団>自主防災組織の順で高く、◆動員力は、逆に、自主防災組織>消防団>常備消防の順で高くなっています。※大規模災害では、災害が同時多発的に発生しますので、公助だけでは対応が困難なことから、相互に補完することが、地域防災にとっては重要となります。消防団の特徴については、消防団は、常勤の消防職員が勤務する消防署とは異なり、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を活かした消火活動や、大規模災害での活動を行う、非常勤特別職の地方公務員です。(消防組織法第9条)また、専門的な研修(知識)と、訓練を受け装備も備えています。出動手当と、額は少ないですが年間手当が支給され、公務災害補償もあります。本市は、本島から離れた島しょ地域で、県内消防の迅速な応援を得ることが困難なことから、地域防災力のために、消防団員の存在はとても重要となっています。石垣市消防団ですが、現在、100名の定数に対し、88人が所属し石垣市管内、8つの分団に分かれ活動を行っています。「消防団協力事業所表示制度」とは、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として、広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制をより一層充実されることを目的とした制度です。災害から地域を守る消防団活動に是非、ご理解を頂き、従業員への入団の働きかけをお願いしたいと思います。次に自主防災組織についてですが、自主防災組織とは、地域住民が「自らの地域は自らで守る」という、意識に基づいて自主的に結成し、自発的に防災活動を行っている組織です。大規模災害が発生したとき、行政機関による公助が困難な場合、地域で、自助・共助の機能を発揮することが重要です。本市の自主防災組織については、主に自治会の規模で組織され、行政からの呼びかけもあつて、現在45か所の地区で結成され、防災倉庫と防災資機材が設置されています。「全国的な自主防災組織の抱える課題」としては、主に役員不足やリーダー不足、また地域住民の意識不足等になっております。本市では、宇会長や公民館長が防災組織の会長を兼ねていることから、1～2年で役員の交代があり、活動の継続性や、リーダー不足に課題があり、公民館組織の中に、防災部長を設け、防災部会の立ち上げが必要だと感

じています。最後に、本市の重点課題について。一つ目が、消防業務の高度化・複雑化に対応する人材育成、二つ目が、市街地西側の出張所整備、及び新消防庁舎の整備、三つ目が、それに伴う人員体制の充実強化、四つ目が、大規模災害に備えた地域防災力の充実強化となっています。また、西側方面が十分にカバーできていないことが大きな課題になっています。そこでその課題を解決する為に、西側地区に新たに出張所を整備したいと計画しています。整備の予定地は、現在の新川団地の建て替え工事が進められていますが、その余剰地に確保して令和5年度内の整備を進めているところです。それ以外の課題といたしましては、現在問題になっていません離島の急患ヘリポートです。ヘリポートの位置については、旧滑走路沿いに位置されていて、八重山病院の薬局から約70mの近い距離になり、来月から運用開始を予定しています。それに続く航空ヘリポートは現在、沖縄県が関係機関と調整

しているところです。最後に、防災士養成講座の案内をさせて頂きました。自主防災組織や企業などの地域防災を担う防災リーダーの育成を図るために、石垣市では初めてとなる、「防災士養成講座」を防災士研修センターを招いて開催します。本来、6万1千900円の費用がかかりますが、本市のまちづくり基金の補助を受けて実施します。大規模災害に備え、企業の安全を図り、地域と連携して活動する上でも必要な資格だと考えています。申し込みは先着順となっていますので、早めの申し込みを案内します。お問い合わせは、消防本部警防課までお願いします。以上、駆け足の説明になりましたが、本市の消防体制について、紹介いたしました。今後も、組織をあげて市民の安全を守るために、消防体制の充実強化に全力で努めてまいります。石垣ロータリークラブの皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。本日は、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

～例会風景～



-昭和48年4月-
当クラブが寄贈した救急車



パナーのプレゼント！ 新城消防長、卓話ありがとうございました。



本日のニコニコ

- ☆森田安高氏:今日は、新城消防長様！！卓話ありがとうございます。
- ☆黒島 剛氏:新城消防長、平安名様 卓話ありがとうございました。
- ☆東上里和広:先週の例会欠席、申し訳ありませんでした。
- ☆今西敦之氏:今月、誕生月 内祝
- ☆新垣精二氏:新城消防長 卓話ありがとうございました。小中高と同級生です。

◆BOX¥5,000 (累計¥84,940)◆コイン¥3,776 (累計¥26,321)合計¥111,261

◆60周年記念基金 森田安高氏 東上里和広氏 2,000円 累計¥44,000



宮良 榮子氏 5日(木) 山下 暢氏 9日(月)
上原 秀政氏 17日(火) 森田 安高氏 19日(木) 東上里 和広氏 21日(土)

